

はしがき

本書 *Message Delivered <Lower Intermediate>* は、パラグラフ・ライティング (paragraph writing) をプレゼンテーション (presentation) へとつなげることによって学習者の発信力を強化するレベル別英語教材の基礎編として作成されました。学習者の習熟度に応じて編纂された本シリーズの共通した主な意図と特徴は次の通りです。

1. パラグラフ・ライティングの基礎、つまりその書式 (format)、構造 (structure)、使うべき表現 (expressions) をきちんと身に着ける。
2. それらを的確に使いながら、英語の論理構成 (logic) と展開法 (paragraph development) にのっとりの的確に自分の考えを伝えることができる。
3. しっかりとしたライティングの基本を身に着けまとめられた自分の考え、意見を同じ論理構成を持ったプレゼンテーションの形として口頭で発表できる。
4. プレゼンテーションの要点を、発表者 (presenter) としてプレゼンテーションを行うことによって学ぶだけでなく、より重要な聴き手 (audience) の視点からの反省によって身に着ける。
5. これらに加えて、特に発信にとって重要な文法項目について整理を行う。

これらは英語のスキル面での学習の要点にもなるわけですが、それが本シリーズの最終的な目標ではありません。最終的な目標は、

- a. 論理的な議論の展開 (場合によっては日本語のそれとは違った) 方法の基礎を知ること
- b. その論理の展開法を用いて物事を考え、自分の考えを、説得力を持って効率的に、そして正確に聴き手に伝えられ、同時にそうできるという自信を得ること
- c. 根拠を持った発言により、それを聞く人々から信頼を得、グローバル人材の備えるべき発信面での能力向上を図ること

というものです。こうした目標を、本シリーズは学習者の習熟度に合わせたレベル別の構成によって、無理なく達成できるように企画されました。

その中で、本書 *Message Delivered <Lower Intermediate>* は、特にそれぞれの基礎、基本となる最も重要な点を精査してタスクに盛り込んでいます。この基礎は、もちろん本シリーズの他の教科書にも共通するものですし、またこの基礎を理解できれば、その後の発展は比較的容易なものであるはずですが。そうした発展は、学習者の皆さんが、何度も練習し、実際に書き、発表することで体験しながら行ってください。それが著者一同の望みです。

なお、刊行にあたっては、株式会社南雲堂の加藤敦さんに企画面を含め多くの助言をいただきました。加藤さんの忍耐力なくしては、本シリーズの完成はなかったでしょう。また、中原緑さんには、内容の点検も含め最終的な編集場面でご面倒をお掛けしました。この場を借りて御礼申し上げます。

Message Delivered <Lower Intermediate>

Copyright© 2020

by Leonid Yoffe, Chiba Atsushi, Shoma Aota, Akira Morita

No part of this book may be reproduced in any form without written permission from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

著者一同

2019 年盛夏

本書の使い方

本書 *Message Delivered <Lower Intermediate>* は、皆さんに次のような技能を身につけて欲しいという思いで編集されています。

1. パラグラフ・ライティング (paragraph writing) の基礎を学び、簡単なパラグラフ (paragraph) を書くことができる。
2. 読み手 (reader) や聞き手 (audience) を意識したパラグラフを書くことができる。
3. そのパラグラフを基にプレゼンテーション (presentation) 原稿を作成し、効果的な口頭発表ができる。

この目標を達成するために、本書を以下の Part I ~ Part III で構成しました。

Part I (Unit 1-4) パラグラフの書式 (format) と基本構造 (structure) を学びます。

part II (Unit 5-10) パラグラフの型ごとに、論理構成 (logic) や展開法 (organization) を学びます。

part III (Unit 11-14) プレゼンテーションの基本構造と効果的な発表の仕方について学びます。

● Part I

Part I ではパラグラフの基本構造をまとめて学習します。説明文を読んで、練習問題を解答していきましょう。自然にパラグラフの構造が理解できるはずですが、ここで学習したことが Part II 以降で行うパラグラフ作成の基本になります。パラグラフの構造が分からなくなったら、ここに戻って理解を確かめましょう。

● Part II

Part II では Unit ごとに1つずつパラグラフの型を取り上げます。各 Unit にはトピックが設定されており、型を意識しながらトピックに関するパラグラフを仕上げていきます。Part II はいくつかのセクションに分かれています。

Warm Up

各 Unit のトピックに関するアンケートに答えます。問題や選択肢は Unit 後半でパラグラフを作成する際のヒントにもなっています。しっかりと考えて回答しましょう。

Paragraph Analysis

各 Unit で扱うパラグラフの型について学びます。その型の展開の仕方や特徴を学んだ後、練習問題でパラグラフを分析して、構造を理解しましょう。ここで、論理構成や展開の仕方をしっかりと身につけることで、この後のアウトラインやパラグラフの作成に無理なく移っていくことができます。

Grammar for Writing

英文を書くときに注意しておきたい文法項目をまとめました。練習問題を通して、時制の使い分けや助動詞の意味、接続詞 (等位接続詞と従属接続詞)、形容詞と副詞などの基本的な項目を再確認します。このセクションだけで詳細に文法を説明することはできませんので、分からない文法事項が出てきたら、参考書や辞書などで調べるようにしましょう。

Vocabulary for the Topic

トピックに関連する語句の意味を練習問題を通して確認するセクションです。分からない語句についてはあらかじめ辞書などで調べておきましょう。アウトラインを作成する際のヒントにもなっているので、ここで学ぶ語句をきっかけに考えをまとめることも可能です。

Outline

パラグラフを実際に書くための準備段階です。指示に従って、主題文、支持文、まとめの文に書くことを整理しておきます。日本語での整理、語句レベルでの整理、文レベルでの整理、と書き方はいくつかわ考えられますが、どの方法で整理するかは授業での指示に従ってください。

Writing

Outline で整理した内容をパラグラフの形に整えていく課題です。全体の構造を意識しながら、基本に忠実なパラグラフを書くようにしましょう。

● Part III

Part III では、プレゼンテーションの基本構造を学びながら、Unit 10 で書いたパラグラフをプレゼンテーション用の原稿に書き換えていきます。Part を通して、説明文を読みながら練習問題を進めていくことで、1つのプレゼンテーション原稿が完成する仕組みになっています。各 Unit には視覚資料の作り方に関するセクションも付いています。効果的なプレゼンテーションを構成する一部として挑戦してみてください。

また、Part の最後には実際にプレゼンテーションを行い評価する Unit があります。聴衆に聞いてもらうように話す練習と、人の発表を注意深く聞く練習を行い、相互に評価することを経験します。

Contents

はしがき

本書の使い方

● Part I

Unit 1	パラグラフの構造	9
Unit 2	主題文(The Topic Sentence)	15
Unit 3	支持文(The Supporting Sentences)	21
Unit 4	まとめの文(The Concluding Sentence)	27

● Part II

Unit 5	機能や特徴を説明しよう(Listing)	33
Unit 6	順序を説明しよう(Time Order)	39
Unit 7	コンビニ商品を分類してみよう(Classification)	45
Unit 8	比較・対比しよう(Comparison and Contrast)	51
Unit 9	原因と結果を分析しよう(Cause and Effect)	57
Unit 10	問題を見つけて解決策を提案しよう(Problem-solution)	63

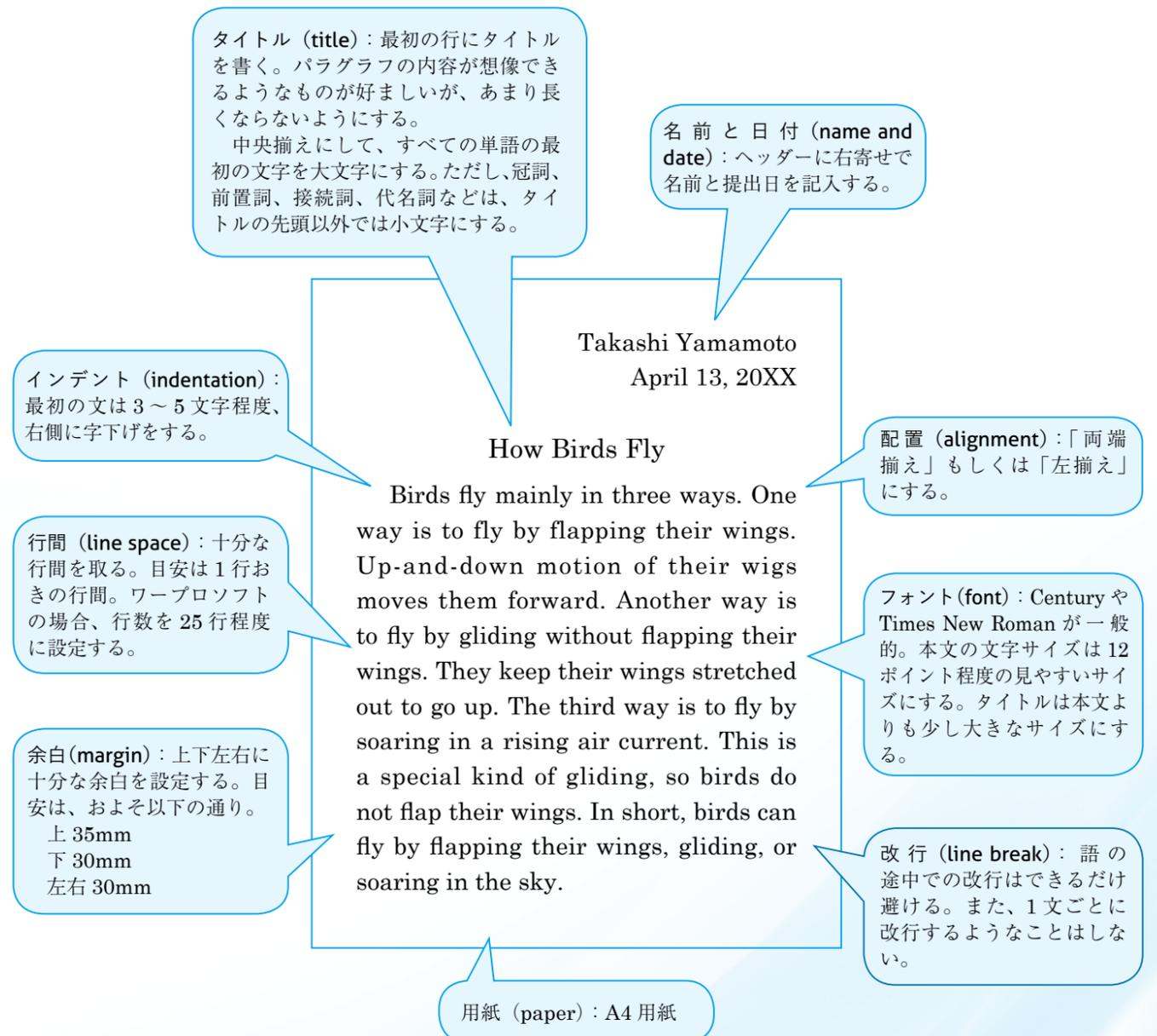
● Part III

Unit 11	パラグラフからプレゼンテーションへ1(Introduction)	69
Unit 12	パラグラフからプレゼンテーションへ2(Body)	75
Unit 13	パラグラフからプレゼンテーションへ3(Conclusion)	81
Unit 14	プレゼンテーションの評価(Evaluation)	87

Appendix		91
----------	--	----

Formatting

学術的な文章を雑誌などに投稿する場合には、それぞれの投稿先によって決められた書式に従って文章を作成しなければなりません。本書では、以下の書式に沿ってパラグラフの作成を行います。なお、以下の書式は、ワープロソフトで文章を作成することを前提にしていますが、手書きの場合もこれに準じて作成するようにしましょう。



Exercise A

以下のパラグラフについて、書式上の問題点を指摘しなさい。

Takashi Yamamoto

April 13, 20XX

How birds fly

Birds fly mainly in three ways.

One way is to fly by flapping their wings.

Up-and-down motion of their wings moves them forward.

Another way is to fly by gliding without flapping their wings.

They keep their wings stretched out to go up.

The third way is to fly by soaring in a rising air current.

This is a special kind of gliding, so birds do not flap their wings.

In short, birds can fly by flapping their wings, gliding, or soaring in the sky.

Paragraph Structure

一つの話題について述べているいくつかの文のかたまりのことをパラグラフ (paragraph) と言います。パラグラフは、以下の構成要素を順序良く並べることによって読者に伝わりやすいものになります。

主題文 (Topic Sentence) : パラグラフのトピックとそのトピックに対する筆者の考えを提示する文。通常パラグラフの先頭に置かれる。

支持文 (Supporting Sentences) : 主題文で提示した考えを裏付けるために、具体例や理由を述べたり、より踏み込んだ情報を示したりする文。具体例や理由などの数に応じて、複数の支持文を置くことになる。

ディテール (Detail Sentence) : 支持文に続いて、支持文の補足をする文。それぞれの支持文に 1 ~ 2 文加えるのが普通。

まとめの文 (Concluding Sentence) : パラグラフの内容をまとめたり、主題文の主張を別のことばで言い換えたりしてパラグラフ全体をまとめる文。パラグラフの最後に置かれる。

* 本書では、主題文 (1 文) + 支持文 (3 文) + ディテール (3 文) + まとめ文 (1 文) の 8 文からなるパラグラフを書く練習をしていきます。

Takashi Yamamoto

April 13, 20XX

How birds fly

Birds fly mainly in three ways. One way is to fly by flapping their wings. Up-and-down motion of their wings moves them forward. Another way is to fly by gliding without flapping their wings. They keep their wings stretched out to go up. The third way is to fly by soaring in a rising air current. This is a special kind of gliding, so birds do not flap their wings. In short, birds can fly by flapping their wings, gliding, or soaring in the sky.

3つの支持文を、文頭の主題文、文末のまとめの文で挟み込むような形にする。

3つの支持文には、それぞれ一つのディテールを付ける。

合計8つの文で一つのパラグラフを完成させる。

Exercise B

次のパラグラフを読んで、後の問に答えなさい。

Why My Hometown is a Great Place for Families

⁽¹⁾ My hometown is a good place to raise children. ⁽²⁾ First, there is a large park in the town center. ⁽³⁾ It's a wonderful place for families to mingle and for children to play together. ⁽⁴⁾ Second, there are a few libraries with children's books. ⁽⁵⁾ They sometimes hold special story-telling events which kids really enjoy. ⁽⁶⁾ Lastly, there is a large children's hospital.

⁽⁷⁾ It has some of the best doctors and medical equipment in the country. ⁽⁸⁾ In short, my town offers very convenient facilities for families with small children.

1. 主題文を番号で指摘し、その内容を日本語で説明しなさい。
 主題文 () 内容: _____

2. 支持文とそれぞれの支持文に続くディテールを番号で指摘し、その内容を日本語で説明しなさい。
 支持文 1 () 内容: _____
 ディテール () 内容: _____
 支持文 2 () 内容: _____
 ディテール () 内容: _____
 支持文 3 () 内容: _____
 ディテール () 内容: _____

3. まとめの文を番号で指摘し、どのようなまとめ方をしているのかを日本語で説明しなさい。
 まとめの文 () 内容: _____

Exercise C

次のパラグラフの空欄に入る文を下から選び、パラグラフを完成しなさい。

English as a Global Language

English-speaking countries can be divided into three groups according to how English is used there. The first group consists of countries in which English is the first language. It includes America, Canada, the UK, and several other countries. ⁽¹⁾ _____

_____ ⁽²⁾ _____

_____ The third group comprises countries in which English is studied as the main foreign language. ⁽³⁾ _____

_____ ⁽⁴⁾ _____

- (a) Most of the remaining countries around the world are included in this group.
- (b) The second group consists of nations in which English is used as the second or official language.
- (c) As you can see, English is truly a global language today.
- (d) India, the Philippines, Singapore, and over 50 other nations belong to this group.

Grammar for Writing

文の構造

- 文の構造の 3 タイプ
 英語の文には 3 つのタイプがあります。
1. 単文：S + V の関係が一つだけで、主節のみで成り立っている文
 I like coffee.
 Mary did not go to the party.
 2. 重文：2 つ以上の節が等位接続詞で結ばれた文
 I like coffee, and Mary likes tea.
 Mary went to work, but I didn't
 3. 複文：主節の他に従属節を含む文
 We missed our plane because we were stuck in traffic.
 Do you know the man who is talking to Mary?

Exercise D

次のそれぞれの文の誤りを、指摘しなさい。

1. Took a walk early in the morning.

2. My brother and I went to the mall last night. But didn't buy anything.

3. My tooth hurt. So I went to the dentist.

4. Tom went to bed, he was tired.

5. although Ken was sick he decided to go out with his out-of-town friends.

Exercise E

与えられた単語を並べかえて、日本語を英語にしなさい。

1. 私は週に3回ジムに行きます。

(a / I / go / gym / the / three / times / to / week)

2. 私たちはホッケーの試合を見た後、家に帰りました。

(a / after / game / hockey / home / we / we / watched / went)

3. 雨が降ったので、道路が濡れています。

(because / is / it / rained / street / the / wet)

4. 私は年だが、あなたはまだ若い。

(are / am / but / I / old / you / young)

5. 私が着いたとき、ケイトは誰かと話をしていました。

(arrived / I / Kate / someone / talking / to / was / when)

UNIT 2

主題文 (The Topic Sentence)

What is the topic sentence?

- 主題文には次のような特徴や役割があります。

主題文の特徴・役割

- 1) パラグラフの先頭に置かれる
- 2) 筆者がそのパラグラフで伝えたいこと (主旨: main idea) を1文で示す
- 3) 読み手に、パラグラフに何が書いてあるのかを予測させる

- 主題文は以下のような基本構造を取ります。

主題文の基本構造

トピック (topic) + 主張 (assertion) + 制限 / 条件 (limitation / condition)

S V (M)

【例】 Sendai is an ideal place to raise children.

トピック 主張 制限

トピック (topic) : パラグラフで取り上げ、論じる話題のことです。パラグラフ全体は1トピックで統一されるので、ここで示されるトピックがパラグラフ全体のトピックになります。なお、トピックは必ずしも主語 (S) の位置に現れるとは限りませんが、本書では「主題文の主語 = topic」という形を取ることにします。

主張 (assertion) : 書き手がトピックについて、自分の考えを述べたりコメントしたりする部分です。トピックについてどのように考えているのかを明確に示すことによって、パラグラフ全体の方向性を決定づけます。

制限 / 条件 (limitation / condition) : この部分は付けたり付けなかったりしますが、主張の範囲を絞り込むことと、主題文以降のパラグラフの展開を明らかにする役割を担います。